

学校評価の結果

今年度の学校評価の結果をお知らせします。

(((徳育について)))



重点目標

互いを思い合い大切にしようとする子の育成「優しく温かな関わりと生活指導上の諸問題の解消」

成果目標と評価

1	毎月のアンケートで、2ヶ月以上続けて「友達からいやなことをされる」と回答する児童の割合を10%未満にする。	3.7%…A
2	毎月のアンケートで、友達に優しく声をかけたり助けたりしていると回答する児童の割合を70%以上にする。	98%…A

課題や改善策

- ・優しい声かけや助け合いについて、児童アンケートの結果では高い数値が出たが、選択肢が「している」か「していない」の2つだったため、「少しはしたことがある」から「している」とつけた児童が多かったのではないかと考えられる。アンケートの項目や選択肢を見直してより正確な実態把握に努めていく。
- ・アンケート後の聞き取りや相談をゆとりをもって行えるような体制の整備を進める。

(((知育について)))

重点目標

確かな学力の定着「基本的な学習内容の定着と学び合い」

成果目標と評価

1	国語と算数のワークテストで期待得点以上の児童を75%以上にする。	国語 82.6% 算数 79.1% …A
2	家庭学習を、10分×学年（1年生は20分）以上行う児童を85%以上にする。	90.7%…A

課題や改善策

- ・年度が進むにつれて期待得点以上の児童の割合が大きくなった。指導と評価を一体化させることを意識して授業改善を行ってきたためであると考えている。国語より算数の方が低いところは今後の課題であり、算数の授業では思考力を伸ばすことを重視し

た授業づくりに努める。また、指導と評価の一体化を推進するため、評価基準をより明確にして指導したり、Web テストやサポート問題の活用を図ったりしていく。

- ・家庭学習プランニングタイムにマンネリ化が見られる。振り返りの機会をもちながら計画的に家庭学習を行うことを意識させる。
- ・タブレットを活用した家庭学習の充実を図る。



((((体育について)))

重点目標

めあてをもって粘り強くがんばる子の育成「楽しい運動経験、自分で目標を立て継続的に取り組む運動習慣の確立」

成果目標と評価

1	体育の時間や休み時間に運動にめあてを立て意欲的に運動に取り組む児童を 85%以上にする。	体育授業 95.4% 休み時間 84.3%	... B
2	メディアアを利用する時間について自分のめあてを守る児童、学年の就寝時刻を守る児童を 80%以上にする。	メディア 71.3% 就寝時刻 77.3%	... B

課題や改善策

- ・体育授業の時間に、めあてを立てて運動に取り組む児童の割合は目標値を超えたが、休み時間に進んで体を動かして遊ぶ児童の割合は目標値にわずかに届かなかった。休み時間に進んで運動に取り組むことができるよう、運動の場を工夫したり運動遊びを紹介したりしていく。
- ・メディアの利用に関しては、引き続き「家庭学習強調期間」等の機会を通して望ましい生活習慣の育成に努めるとともに、個別面談等の機会を通して家庭との連携を強めていく。また、家庭での生活時間に課題が見られる児童については、個別に家庭と協力して改善を図っていく。

